

会場整備に関する取組み

担当課 整備調整部 整備企画課
 担当者 池、清水
 直通 06-6690-7724

令和6年度当初予算(案) 26,965,500千円
 (令和5年度当初予算額 4,701,500千円)

○事業概要

- ・博覧会協会が行う会場整備事業に対して、府市が費用を一部負担（府は1/6を負担）
 （国：地方公共団体：民間＝1：1：1、地方公共団体のうち、大阪府：大阪市＝1：1）

○2024年度の取組み

- ・会場基盤整備や催事場等の施設の建設を進めるとともに、植栽や舗装などの工事に取り組み、最終的な準備を進める

【(参考)会場整備の状況】

(博覧会協会による会場建設)

- ・2022年10月から、博覧会協会において会場基盤整備工事（土木工事）を実施し土地造成などのインフラ整備は概ね完了
- ・大屋根（リング）は、2023年6月から組み立てが始まっており、現在、約5割の進捗
- ・静けさの森は2023年12月から植栽工事を開始
- ・主要施設についても大催事場、小催事場、迎賓館、テーマ館8館が着工済み

(政府・自治体・民間によるパビリオン建設)

- ・日本館、ウーマズパビリオン、大阪ヘルスケアパビリオン、関西広域連合パビリオンは着工済み
- ・民間パビリオンは13館中10館で着工済み

(海外パビリオン)

- ・参加国が整備する「タイプA」は約60か国で、うち約35か国は施工事業者が決定
- ・「タイプX」を選択した国は3か国、「タイプC」への変更は2か国、その他の参加国は概ね「タイプA」を目指している
- ・協会が整備する「タイプB」「タイプC」は約100か国で既に着工済み

【会場建設費及び運営費の執行管理】

- ・経済産業省のもとに外部専門家を交えた「2025年大阪・関西万博予算執行監視委員会」が設置（1月25日第1回開催）され、協会の理事会（四半期毎）で議論された会場建設費・運営費の執行状況について、その適切性を継続的に確認
- ・府市としても、本委員会に委員を推薦するとともに、オブザーバとして参加。また、協会の理事として運営費執行管理会議や理事会で報告される費用の執行状況の確認・検証を行うなど、協会の経費執行をしっかりと管理

図：会場配置計画（2023年11月30日時点）



担当課 整備調整部 整備企画課
 担当者 池、山崎
 直通 06-6690-7724

交通アクセスに関する取組み

①大阪メトロ中央線輸送力増強

令和6年度当初予算(案) 549,500千円
 (令和5年度当初予算額 595,500千円)

○事業概要

- ・2025年日本国際博覧会会期中の万博来場者の安全・安定輸送を図るため、鉄道事業者による北港テクノポート線夢洲駅から大阪メトロ中央線長田駅間の運行間隔の短縮に必要な車両を留め置く新たな留置線を整備するなど、輸送力増強にかかる施設整備費用の一部を、府市1:1で負担。

○2024年度取組み

- ・森之宮検車場における留置線の設置及び夢洲駅の改札機・券売機の増設等

②一般交通への働きかけ TDM※

令和6年度当初予算(案) 96,000千円
 [債務負担 令和6年度～令和7年度 98,000千円]
 (令和5年度当初予算額 25,000千円)

○事業概要

- ・万博来場者需要の平準化や交通容量の拡大などの万博交通輸送対策を実施しても、会期の終盤や特定の時間帯には、鉄道の混雑や高速道路の渋滞が発生してしまうことから、「2025年大阪・関西万博 交通円滑化推進会議」において、一般交通の抑制、分散、平準化を目的とした働きかけができるよう、万博来場者輸送対策を検討する「2025年日本国際博覧会来場者輸送対策協議会」と並列して検討・対策を推進。

○2024年度取組み

- ・府市、協会、経済界等を含む関係機関により設置した「2025年大阪・関西万博 交通円滑化推進会議」において、TDMパートナー登録の周知・依頼、試行実施と結果検証、広報等を推進

※TDM(交通需要マネジメント)とは、Transportation Demand Managementの略で、既存の交通システムの利用効率を最大化する目的で移動者側に行動変更を促す諸施策

担当課 出展部 出展企画課
 担当者 元木、田村
 直通 06-6690-7212

大阪ヘルスケアパビリオンに関する取組み

①地元パビリオンの出展に向けた準備

令和6年度当初予算(案) 3,898,733千円
 (令和5年度当初予算額 1,133,759千円)

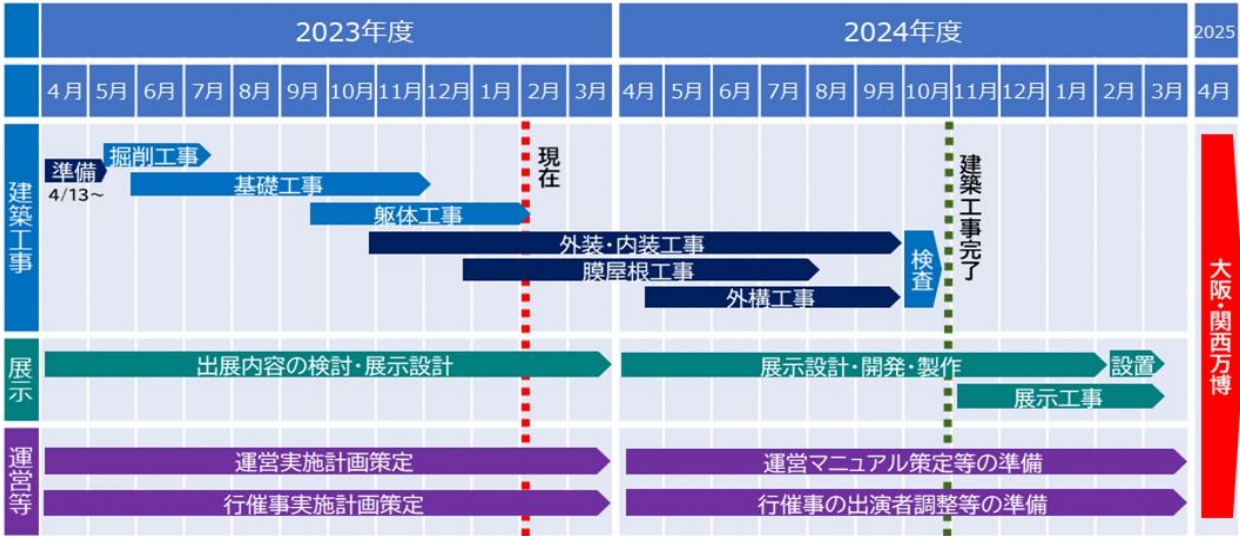
○事業概要

・万博の地元自治体として、万博のテーマやコンセプトを踏まえ、ライフサイエンス分野の研究機関や企業等が集積する大阪・関西の特徴や強みなども活かし、大阪のポテンシャルの世界的なアピールや魅力発信につなげるため、パビリオン出展を推進。

○2024年度取組み

- ・2024年10月の完成に向けて建築工事を進め、11月以降に展示工事を開始予定
- ・運営計画や公式行事の開催検討などの取組みを推進
- ・ハードレガシーの検討(マーケットサウンディング実施結果を踏まえ、万博閉幕後のパビリオン建物の具体的な活用方法などを検討)

【スケジュール(予定)】



②大阪ヘルスケアパビリオン再生医療発信事業

令和6年度当初予算(案) 109,978千円
 [債務負担 令和6年度~令和7年度 40,500千円]
 (令和5年度当初予算額 7,528千円)

○事業概要

・大阪・関西の再生医療のポテンシャルと未来の医療を子どもたちにも分かりやすく示すことで、いのちの大切さを学んでもらうとともに、将来への期待と科学への関心を高めてもらい、次代の人材育成にもつなげるため、大阪ヘルスケアパビリオンにおいて、iPS細胞による生きる心臓モデルをはじめとした再生医療に関する展示出展を推進。

○2024年度取組み

- ・展示コンテンツの製作・設置工事及び運営準備

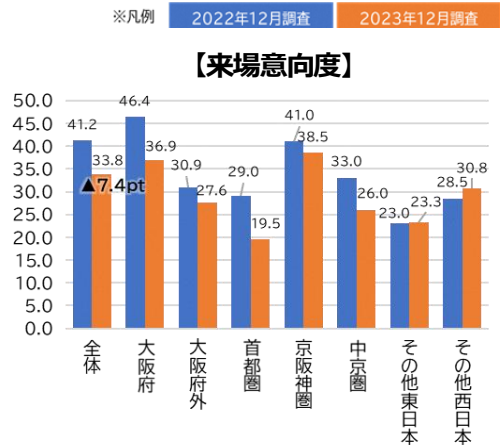
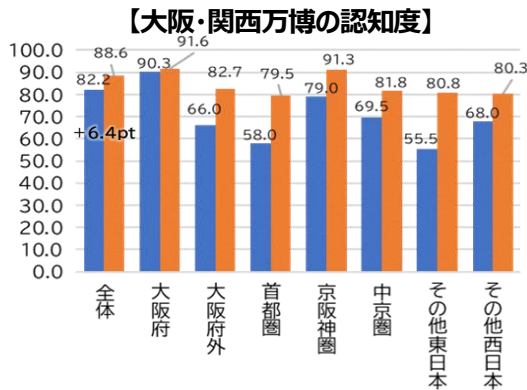
担当課 機運醸成部 推進課
 担当者 中村、角田
 直通 06-6690-7640

機運醸成に関する取組み

令和6年度当初予算(案) 405,000千円
 [債務負担 令和6年度~令和7年度 35,000千円]
 (令和5年度当初予算額 195,000千円)

○機運醸成に関するアンケート調査

全国6,000人を対象に調査を実施(2023年12月)



○事業概要

- 万博への理解を深めていただき、来場意向度を高めるため、ロゴマークやキャラクターを活用した認知度向上の取組みに加え、パビリオンの建設状況や展示内容、会場で展開される催事のプログラムなどについて情報発信を強化。
- 首都圏を含む「全国」や「若年層」など、ターゲットに応じた情報発信をさらに強化。

○2024年度取組み

(1) 万博の具体的な動き・内容等、万博の理解促進につながるコンテンツを一層充実

- 大屋根(リング)など会場の建設状況等を体感できるような取組み
- 情報発信サイトへの最新情報等の掲載のほか、チラシやショート動画等各種PRツールの作成・活用

(2) ターゲットに応じて情報発信をさらに強化

① 全国への発信強化

- 全国に店舗や営業所を展開する企業等にPRへの協力を働きかけ
- 開幕1年前(4月)や来場予約・パビリオン予約開始(10月頃)等の節目を捉えた大規模集客イベントの実施

② 地元でのさらなる取組みの推進

- 民間企業や市町村等のイベント主催者と連携し万博PRを実施
- 開幕直前・直後期(2025年3月~5月)に、主要集客エリア等で街頭バナーフラッグ等を掲出

③ 若年層への発信強化

- SNS等を効果的に活用し、若年層をターゲットにしたプロモーションを展開
- 「高校生向けEXPO教育プログラム」のさらなる活用促進とワークショップ型のイベントを実施等



担当課 機運醸成部 参加促進課
 担当者 溝口、村上
 直通 06-6690-7647

参加促進に関する取組み

①万博会場内での催事実施に向けた企画調整及び準備

令和6年度当初予算（案） 149,166千円
 [債務負担 令和6年度～令和7年度 917,500千円]
 （新規）

○事業概要

- ・大阪府・大阪市を中心に府内市町村が連携し、万博会期中の春・夏・秋の3期にわたり、大阪の魅力や特色を世界に向けて発信する「（仮称）大阪ウィーク」を開催予定。
- ・大阪の人々がエネルギーを注ぐ「祭り」をキーワードに、様々な催事を展開し、未来へと語り継がれる訴求力のあるイベントとなるよう実施に向けた準備を推進。

【（仮称）大阪ウィークの概要】

●開催時期

春期（5月）、夏期（7～8月）、秋期（9月）※各10日間程度

●催事イメージ

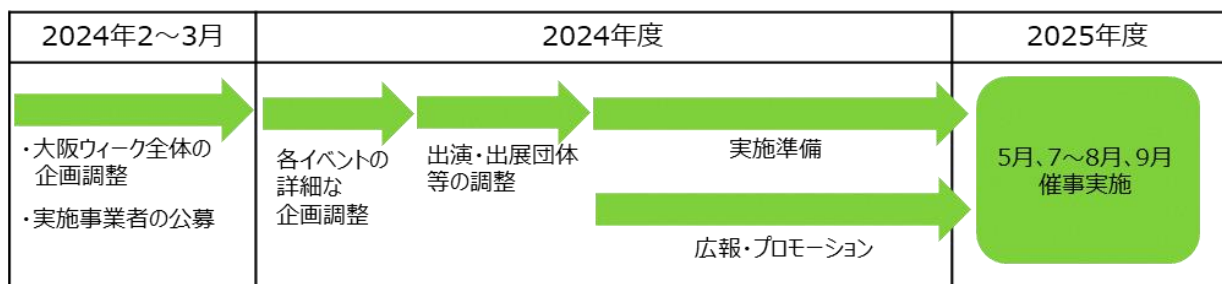
- ・観光や、技術・産業、食文化などを体験してもらう「大阪43市町村の祭典」
- ・大阪の代名詞とも言える「だんじり・やぐら・太鼓台等の大集合」
- ・地域の子どもからお年寄り、来場者も参加する「盆踊りでギネスに挑戦」 など

○2024年度取組み

「（仮称）大阪ウィーク」の実施に向けた準備

- ・各イベントの詳細な企画調整
- ・出演・出展団体等との調整
- ・広報・プロモーションの実施 等

【スケジュール（予定）】



担当課 機運醸成部 参加促進課
 担当者 溝口、村上
 直通 06-6690-7678

②万博ボランティアの活動準備

令和6年度当初予算(案) 362,868千円
 (令和5年度当初予算額 103,341千円)

○事業概要

・博覧会協会と連携し、万博会場や主要駅、空港等での案内や地域の魅力発信、大阪ヘルスケアパビリオンの来館者サポートなどを行い、国内外から大阪・関西万博を訪れる方々をおもてなしするボランティアの募集、面談、研修、活動に向けた準備等を実施。

【募集概要】

- 募集期間 2024年1月26日(金)～4月30日(火)
- 募集人数 万博ボランティア全体で約2万人
- 応募要件
 - ・ 満18歳以上の方(2025年4月1日時点)
 - ・ 日本語による会話(意思疎通)が可能であること
 - ・ 面談、研修への参加が可能であること

● 活動内容



来場者への案内・歓迎等
をアシスタントの補助



会場内の案内所・休憩
所などの運営補助



主要駅・空港等での万博情報、交通情報、観光情報等の案内

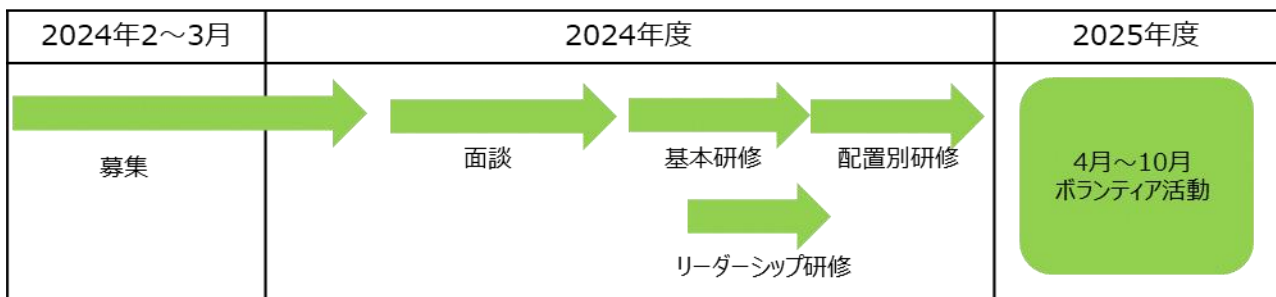


- 活動期間 2025年4月13日～10月13日のうち、5日間以上
 (連続した日程でなくても参加可能)
 ※活動時間は1日当たり3～6時間程度

○2024年度 の取組み

- ・ ボランティアの募集、面談
- ・ ボランティア活動に向けた研修
- ・ ボランティアの活動拠点の準備や活動物品の製作
- ・ 交流スペースの設置、運営 等

【スケジュール(予定)】



担当課 総務企画部 儀典課
 担当者 九之池、北本
 直通 06-6690-7106

賓客受け入れに関する取組み

令和6年度当初予算(案) 53,009千円
 [債務負担 令和6年度～令和7年度 203,500千円]
 (新規)

○事業概要

- ・2025年日本国際博覧会の開催に際し、国内外から多数来訪される賓客に対し、地元自治体として満足いただける接遇を実施するための体制を整備。

接遇内容(想定)

- ・協会主催行事への出席：開会・閉会式や参加国・国際機関の祝祭典日(ナショナルデー・スペシャルデー)等の行事への特別職等の出席(必要に応じ各言語の通訳を同行)
- ・会場内視察等：地元大阪が出展する「大阪ヘルスケアパビリオン」等の会場内の視察の調整・同行
- ・会場外視察等：会場外の施設等への視察の調整・同行や、特別職への表敬訪問の実施
- ・地元歓迎レセプション(仮)：地元自治体として、参加国に対し歓迎の意を表するためのレセプションの開催

○2024年度の取組

- ・受け入れ計画策定やマニュアル整備、レセプション準備 など
- ・賓客受け入れ効率化のためのシステム構築
- ・通訳手配やシフト案の作成など、万博準備のために来訪する賓客受け入れ業務 等

【スケジュール(予定)】

